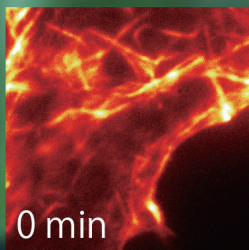


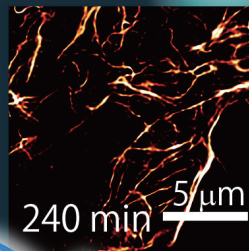
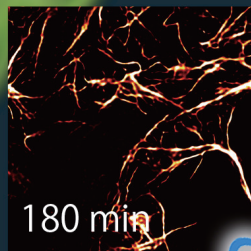
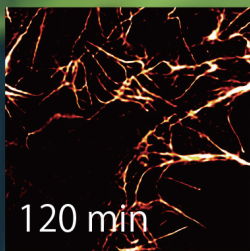
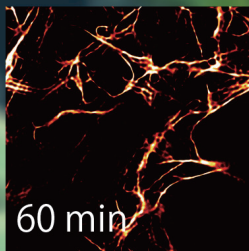
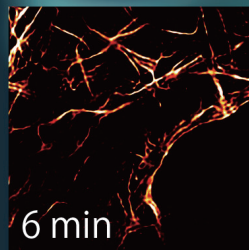
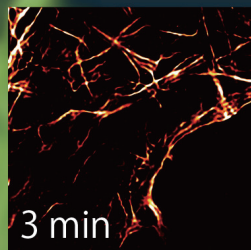
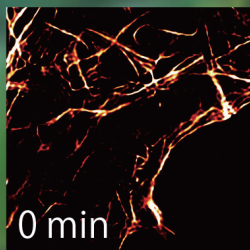
バイオイメーjing

第29回学術集会ベストイメーjing賞・ニコン賞

蛍光生画像



超解像画像 (SPoD-OnSPAN)



「光スイッチング蛍光タンパク質 (Kohinoor2.0) による、
長時間・高速超解像イメーjing」

■第 30 回日本バイオイメーjing学会学術集会■

主催：日本バイオイメーjing学会

会期：2021 年 9 月 9 日（木）～ 9 月 11 日（土）

◆学術講演会：9 月 9 日（木）～ 9 月 10 日（金）

◆公開講座：9 月 11 日（土）

開催方法：オンライン（Zoom）

大会長：田中 直子（大妻女子大学 家政学部 食物学科）

副大会長：細谷 夏実（大妻女子大学 社会情報学部 社会情報学科）

学術集会ホームページ：<https://30thbioimaging.wixsite.com/my-site-2>



参加費：公開講座（無料）

学術集会

一般（正会員：4,000 円、非会員：6,000 円）

大学院生および学部 5 年生以上（学生会員：3,000 円、非会員：5,000 円）

学部 4 年生以下：無料（発表する場合は大学院生に準ずる）

■第 30 回日本バイオイメーjing学会学術集会運営委員会■

大会長：田中 直子（大妻女子大学 家政学部 食物学科）

副大会長：細谷 夏実（大妻女子大学 社会情報学部 社会情報学科）

運営委員

岡 浩太郎（慶應大学 理工学部 生命情報学科）

根本 知己（自然科学研究機構 生命創成探究センター・生理学研究所）

永井 健治（大阪大学 産業科学研究所）

太田 善浩（東京農工大学大学院工学研究院 生命機能科学部門）

加藤 薫（産業技術総合研究所 バイオメディカル研究部門）

樋口ゆり子（京都大学大学院 薬学研究科）

鈴木 亮（帝京大学 薬学部）

船津 高志（東京大学 薬学部）

加藤 晃一（自然科学研究機構 生命創成探究センター・分子科学研究所）

洲崎 悦子（就実大学 薬学部）

行方衣由紀（東邦大学 薬学部）

事務局：伊香賀 玲奈（大妻女子大学 短期大学部）

■ ご案内 ■

1. 受付・参加費

- (1) 本大会はオンライン開催のため、事前登録のみとさせていただきます。大会ホームページの「参加方法」をご覧ください、〆切までに参加登録をお願いします。

◆参加費

○公開講座：無料

○学術集会：一般（正会員：4,000 円、非会員：6,000 円）

大学院生および学部 5 年生以上（学生会員：3,000 円、非会員：5,000 円）

学部 4 年生以下：無料（発表する場合は大学院生に準ずる）

- (2) 招待講演を除き、登壇者は日本バイオイメージング学会会員に限ります。
- (3) 事前参加登録をされた方には、8 月下旬頃に参加 ID を通知いたします。参加 ID は、学会参加時に必要となりますので、紛失されないようお気を付けください。
- (4) Zoom 参加方法（Zoom 操作手順）は、9 月上旬にメールでご連絡します。

2. 発表者へのご案内

- (1) シンポジウム、奨励賞受賞講演

講演時間は時間厳守にてお願いいたします。Zoom の画面共有にて発表していただきます。

- (2) 一般演題（ポスター発表）

Zoom のブレイクアウトルームを使用し、参加者との画面共有により発表していただきます（一つの演題につき、一つのブレイクアウトルームを設定します）。発表資料作成方法につきましては、8 月中旬以降メールでご連絡します。

接続テストを 9 月 8 日に予定しております。詳細は改めてご連絡します。

3. ベストイメージング賞

- ・ポスター発表の中から決定いたします。
- ・ベストイメージング・浜ホト賞（浜松ホトニクス株式会社提供）、ニコン賞（株式会社ニコンソリューションズ提供）、カールツァイス賞（カールツァイス株式会社提供）、OLYMPUS 賞（オリンパス株式会社提供）の 4 つの賞が予定されています。
- ・受賞演題は、参加者全員による投票で決定します。

投票方法：Google フォームによる投票。URL は、学会開催中にお示しします。

投票期間：9 月 9 日 11:30～9 月 10 日 16:00

- ・受賞者の発表と表彰は、9 月 10 日 17:00～の懇親会において行います。

4. 総会

9月10日（金）15:30～16:00

5. 奨励賞受賞講演

9月10日（金）16:00～17:00

6. 懇親会

- ・学会に引き続き、Zoomを使ってオンライン懇親会を開催いたします。
シンポジウム／ポスターセッションのテーマや自由に語れるテーマを設定したブレイクアウトルームを作成し、バイオイメーjing学会の参加者同士が親睦を深められる場にしたいと思います。
- ・参加費無料
- ・懇親会内でベストイメーjing賞を発表いたしますので、ぜひご参加ください。

7. 禁止事項

- ・発表者の承諾無しに、発表内容を画面撮影（スクリーンショット含む）、録画、録音すること
- ・学会のミーティング ID やパスワードを他人と共有すること

8. 免責事項

回線・機器の状況によっては映像等の不具合が発生する場合がありますので、安定したネットワーク環境での参加をお勧めいたします。その他インターネットトラブルや Zoom 接続不良等につきましては、十分なサポートができない可能性があることをご了承下さい。

■ プログラム ■

第 30 回日本バイオイメーシング学会学術集会 日程表

9月9日 (木)		9月10日 (金)		9月11日 (土)	
		9:00	シンポジウム 様々な手法で見る生体試料 (9:00-10:30)		
9:50	開会			10:00	
10:00	シンポジウム Cutting-edges for volumetric imaging of brain and neural activity (10:00-11:30)	10:30	ポスター3 (10:30-11:30)		公開講座 味と匂いの バイオイメーシング (10:00-12:00)
11:30	ポスター1 (11:30-12:30)	11:30	企業セミナー (11:30-12:30)	12:00	
12:30	企業セミナー (12:30-13:30)	12:30	休憩		
13:30	第30回記念シンポジウム バイオイメーシングの今、 そしてこれから (13:30-15:10)	13:00	シンポジウム 細胞内の非膜オルガネラをみる (13:00-14:30)		
15:00	休憩	14:30	ポスター4 (14:30-15:30)		
15:30	ポスター2 (15:30-16:30)	15:30	総会 (15:30-16:00)		
16:30	シンポジウム イメーシングと操作で見る ミトコンドリア機能 (16:30-18:00)	16:00	奨励賞受賞講演 (16:00-17:00)		
18:00		17:00	懇親会 (17:00-18:30)		
		18:30			

第 30 回日本バイオイメーシング学会学術集会プログラム

◎学術集会プログラム

日時：9 月 9 日（木）9:50 ～ 9 月 10 日（金）18:30 オンライン開催

9 月 9 日（木）

9:50

【開会】

開会あいさつ：バイオイメーシング学会会長 岡浩太郎

会の進行について：第 30 回学術集会大会長 田中直子

10:00 ～ 11:30

【シンポジウム 1】 **Cutting-edges for volumetric imaging of brain and neural activity**

座長：根本知己（自然科学研究機構 生命創成探究センター・生理学研究所）

S1-1. CUBIC-HistoVision：臓器・全身をカバーする 3 次元組織学技術

○洲崎悦生^{1,2}

¹順天堂大・院医 生化学・生体システム医科学、²理研 BDR 合成生物学研究 T

S1-2. 自動球面収差補正による生体組織の屈折率推定

○毛内拓¹

¹お茶大・理

S1-3. High-speed volumetric imaging of brain

○ Shi-Wei Chu^{1,2,3}

¹Department of Physics, National Taiwan University、²Molecular Imaging Center, National Taiwan University、³Brain Research Center, National Tsing Hua University

11:30 ～ 12:30

【ポスターセッション 1】

P1 植物の立体再構成システムを用いたミオシン XI 変異体草姿の定量解析

○吉田大一¹、國田樹²、戸田真志³、上田晴子⁴、檜垣匠⁵

¹熊本大・院・自然科学、²琉球大・工、³熊本大・総合情報統括センター、⁴甲南大・理工、⁵熊本大・国際先端科学技術研究機構

P2 微小管結合タンパク質 RIC1 過剰発現による子葉器官および表皮細胞の形態変化

○菊川琴美¹、曾我康一²、今村寿子³、檜垣匠⁴

¹熊本大・院・自然科学、²大阪市立大・院・理、³九州大・院・医、⁴熊本大・国際先端科学技術研究機構

P3 シロイヌナズナ子葉における表皮細胞の形態形成初期の超微細構造解析

○秋田佳恵¹、高木智子²、檜垣匠³、馳澤盛一郎⁴、永田典子¹

¹日本女子大・理、²日本女子大・電顕、³熊本大・IROAST、⁴法政大・生命科学

P4 画像解析による超解像法 SRRF の *in vivo* イメージングへの適用

○堤 元佐^{1,2}、高橋 泰伽^{1,2,3}、小林 健太郎⁴、根本 知己^{1,2,3,4}

¹自然科学研究機構 生理学研究所、²自然科学研究機構 生命創成探究センター、³総合研究大学院大学 生理科学専攻、⁴北海道大学 電子科学研究所

P5 多点走査型 2 光子顕微鏡を用いた生体脳のボリウム Ca^{2+} イメージング

○安宅光倫^{1,2,3}、大友康平^{1,2,3}、榎木亮介^{1,2,3}、根本知己^{1,2,3}

¹ 総合研究大学院大学 生命科学研究科、² 自然科学研究機構 生命創成探究センター、³ 自然科学研究機構 生理学研究科

P6 リピッドバブルと超音波を利用したがん組織内血管透過性促進法の開発

○鈴木亮^{1,2}、影山彩織¹、小俣大樹¹、宗像理紗¹、丸山一雄^{1,2}

¹ 帝京大 薬、² 帝京大 先端総研

P7 免疫賦活化核酸搭載脂質ナノ粒子の抗腫瘍効果および生体内分布の検討

○宗像理紗¹、小俣大樹¹、小山正平^{2,3}、岡田欣晃⁴、吉岡靖雄^{4,8}、青枝大貴⁵、鈴木 亮^{1,9}

¹ 帝京大 薬、² 阪大院 医、³ 国立がん研セ 先端医療開発セ、⁴ 阪大院 薬、⁵ 阪大微研、⁶ 阪大 先端、⁷ 阪大微研会、⁸ 阪大 MEI、⁹ 帝京大 先端総研

P8 高速原子間力顕微鏡を用いた糖転移酵素の分子構造動態解析

○矢木宏和¹、渡辺大輝²、Ganser Christian²、金 明美¹、吉田早希¹、佐藤匡史¹、梅澤美美子^{1,2}、柚木康弘³、守島 健³、杉山正明³、内橋貴之^{2,4}、加藤晃一^{1,2}

¹ 名古屋市立大学薬学部／大学院薬学研究科、² 自然科学研究機構生命創成探究センター、³ 京都大学複合原子力科学研究所、⁴ 名古屋大学大学院理学研究科

P9 物理化学的手法と分子動力学シミュレーションによるアガリクス由来 β グルカンの立体構造観測

○松村義隆¹、井上広大¹、墨野倉誠¹、久保美香子¹、出村茉莉子¹、市岡隆幸¹、森本康幹¹、田代充²、石橋健一³、大野尚仁³、小島正樹¹

¹ 東薬大・生命、² 明星大・理工、³ 東薬大・薬

12:30 ~ 13:30

【企業セミナー】

13:30 ~ 15:10

【第 30 回記念シンポジウム】 バイオイメージングの今、そしてこれから

企 画：日本バイオイメージング学会企画委員会

委員長：鈴木亮（帝京大学 薬学部）

A-1. 未来の薬とバイオイメージング

○樋口ゆり子¹

¹ 京大・院 薬学研究科

A-2. ブラシノステロイド情報伝達の構造生物学と多階層アプローチへの展望

○宮川拓也¹

¹ 東京大学大学院農学生命科学研究科

A-3. 植物細胞生物学を起点とした画像の定量評価と機械学習

○檜垣匠¹

¹ 熊本大 国際先端科学技術研究機構

A-4. バイオイメージング研究の展開と本学会の取り組み～次の 30 年のさらなる飛躍に向けて～

○岡浩太郎¹

¹ 慶應義塾大学 理工学部

15:10 ~ 15:30 <休憩>

15:30 ~ 16:30

【ポスターセッション 2】

P10 遊離脂肪酸が膵臓 β 細胞のミトコンドリア膜電位に与える影響～トランス脂肪酸の影響～

齋藤喜久恵¹、○鈴木真理子²、永田莉子¹、川久保愛美²、田中直子^{1,2}

¹ 大妻女子大 家政、² 大妻女子大・院 人間文化研究

- P11 大麦粉の腸内発酵による短鎖脂肪酸の増加は、L細胞に発現する GPR43 を介して GLP-1 分泌、細胞内 Ca^{2+} 放出量を増加させる**
 ○三尾 建斗¹、田中 直子^{1,2}、青江 誠一郎^{1,2}
¹大妻女子大・院 人間文化研究、²大妻女子大 家政
- P12 メラノソーム分解の可視化システム**
 ○川口馨加¹、渡辺実夢¹、古川紗帆²、竹森洋^{1,2}、平田洋子^{1,2}、古田享史^{1,2}
¹岐阜大・院 自然科学技術、²岐阜大 工
- P13 MitoMM2 によるミトファジー検出法の開発**
 ○前田美和¹、鈴木麻由¹、今石潤²、竹森洋^{1,2}
¹岐阜大・院 自然科学、²岐阜大 化学生命
- P14 ATX-II は $\text{Na}^+/\text{Ca}^{2+}$ 交換機構の逆方向回転モードの活性化を介して肺静脈心筋細胞の細胞内 Na^+ 及び Ca^{2+} 濃度を上昇させる**
 ○斎藤太郎、大場亜衣子、高野裕大、濱口正悟、行方衣由紀、田中光
 東邦大 薬 薬物
- P15 試料表面の屈折率差が近赤外蛍光 CT に及ぼす影響**
 ○竹松真歩¹、梅澤雅和¹、世良俊博²、横田秀夫³、大久保喬平¹、上村真生¹、曾我公平¹
¹東京理大・先進工・マテ工、²九大・工・機械工、³理研・光量子・画像情報処理
- P16 疎水性高分子の立体構造が OTN 近赤外蛍光色素の内包特性に及ぼす影響**
 ○市橋理江¹、梅澤雅和¹、植屋佑一²、高本英司²、大久保喬平¹、上村真生¹、曾我公平¹
¹東京理大・先進工・マテ工、²JSR 株式会社・筑波研究所
- P17 ライブセルイメージングを用いたレーザー光毒性の波長依存性**
 ○山口樹也¹、大坂昇¹、松山哲也¹、和田健司¹、岡本晃一¹、川喜多愛²、村田香織²、杉本憲治²
¹大阪府立大学工学研究科、²大阪府立大学生命環境科学研究科
- P18 赤色 FRET 型 ATP プロブの開発とエネルギー代謝の Dual-FRET イメージング**
 ○新藤豊¹、衛澤峰^{1,2}、堀田耕司¹、岡浩太郎^{1,2,3}
¹慶大 理工、²早大 理工、³高雄医大 医学

16:30 ~ 18:00

【シンポジウム 2】 イメージングと操作で見るミトコンドリア機能

座長：太田善浩（東京農工大学大学院 工学研究院 生命機能科学部門）
 田中直子（大妻女子大学 家政学部 食物学科）

S2-1. ミトコンドリア構造の動的制御とその生理的意義

観音裕孝¹、Pal Soumyadip¹、丸山翔太¹、石原孝也¹、○石原直忠¹
¹大阪大・院 理・生物科学

S2-2. イメージングで見つかったミトコンドリアの細胞保護機能

○太田善浩¹、アクリマ・ヤンナトゥル¹
¹東京農工大・院・生命工学専攻

S2-3. ミトコンドリア機能を操作する Drug Delivery System

○山田勇磨¹、原島秀吉¹
¹北大院 薬

9 月 10 日（金）

9:00 ~ 10:30

【シンポジウム 3】 様々な手法で見る生体試料

座 長：加藤薫（産業技術総合研究所 バイオメディカル研究部門）

S3-1. 走査電子顕微鏡の生物応用

○甲賀大輔¹

¹ 旭川医大 医 顕微解剖

S3-2. アポダイズド位相差顕微鏡による無染色・非侵襲での細胞内微細構造動態の観察

○島崎健太郎¹、加藤薫²、中村優子¹、齊藤恭子¹、深澤征義¹、花田賢太郎^{1,3}

¹ 感染研・細胞化学、² 産総研・バイオメディカル、³ 感染研・品管

S3-3. 有機合成小分子を用いた超解像光学顕微鏡による生体試料の観察

○佐藤良勝^{1,2}

¹ 名古屋大 WPI-ITbM、² 名古屋大・院 理学研究科

S3-4. 機械学習によって明視野細胞画像から遺伝子型の違いを判別できるか

鈴木吾大²、齋藤裕^{1,3,4}、○光山統泰¹

¹ 産業技術総合研究所 人工知能研究センター、² 一般財団法人シネコカルチャー、³ 産総研・早大 生体システムビッグデータ解析 オープンイノベーションラボラトリ、⁴ 東京大学大学院新領域創成科学研究科

S3-5. 新規プローブの開発と応用による低分子量生体分子の可視化解析

○塗谷睦生^{1,2,3}

¹ 慶應義塾大 医学部、² 横浜国大 環境情報、³ JST さきがけ

S3-6. 高輝度蛍光ナノ粒子を用いた病理解析による乳癌内分泌療法の耐性予測

○権田幸祐¹、北村成史¹、石田孝宣²、多田寛²

¹ 東北大・院 医学系 医用物理学分野、² 東北大・院 医学系 乳腺・内分泌外科学分野

10:30 ~ 11:30

【ポスターセッション 3】

P19 自発的 Ca^{2+} transient の発生における $\text{Na}^+/\text{Ca}^{2+}$ exchanger の役割

—モルモット洞房結節細胞での検討—

○尾高椋介、濱口正悟、行方衣由紀、田中光

東邦大 薬 薬物学

p20 ショウガ辛味成分ショウガオールが骨格筋の運動機能の質に与える影響

○栗山恵弥^{1,2}、深井梨沙¹、宮園佳歩¹、泉佐和¹、山口真由¹、田中光³、田中直子¹

¹ 大妻女子大・食物、² 大妻女子大・院 人間文化研究、³ 東邦大・薬

P21 肺微小循環動態の高解像度かつ高フレームレート *in vivo* イメージング

○澤麻理恵¹、牛山明²、服部研之¹

¹ 明治薬科大学、² 国立保健医療科学院

P22 劇症型急性肺炎モデルマウスにおける免疫炎症細胞浸潤のイメージング解析

○長谷川明洋¹、萩野英賢¹、中山俊憲²

¹ 山口大学大学院医学系研究科、² 千葉大学大学院医学研究院

P23 生物発光共鳴エネルギー移動 (BRET) による高光度化バクテリアルシフエラーゼを用いた自発光イメージング

○加来友美、杉浦一徳、円谷徹之、長部謙二、永井健治

大阪大 産業科学研究所

P24 Heterogeneity and dynamics of the apoplasmic fluid pH in different root zones revealed by a bioluminescent ratiometric indicator

Quang Tran¹, Kenji Osabe^{1,2}, Tetsuyuki Entani², Tetsuichi Wazawa², Mitsuru Hattori^{1,2}, Takeharu Nagai^{1,2}

¹ Graduate School of Engineering, Osaka University, ² The Institute of Scientific and Industrial Research (SANKEN), Osaka University

P25 糖鎖リガンド sLeX mimic と小胞体局在シグナルペプチド KDEL を利用した小胞体へのタンパク質デリバリー

○内田結、森川知彦、樋口ゆり子、山下富義

京都大学大学院薬学研究科

P26 Development of an “OFF-ON-OFF” fluorescence switch for real-time visualization of degradation of short-lived proteins in living cells

○ Shahi Imam Reja¹, Yuichiro Hori^{1,2}, Kohei Yamasaki¹, Miyako Nishiura¹, Kazuya Kikuchi^{1,2,3}

¹Division of Applied Chemistry, Graduate School of Engineering, ²Immunology Frontier Research Center,

³Quantum Information and Quantum Biology Division, Osaka University, Osaka, Japan

P27 微小血管を可視化する造影剤の開発

○田邊瑠里子^{1,2}、澁谷仁寿²、後藤拓¹、田村勝²、野村慎太郎^{1,2}

¹長浜バイオ大学 アニマルバイオサイエンス学科、²理化学研究所 バイオリソース研究センター

11:30 ~ 12:30

【企業セミナー】

12:30 ~ 13:00 <休憩>

13:00 ~ 14:30

【シンポジウム 4】細胞内の非膜オルガネラをみる

座長：樋口ゆり子（京都大学大学院 薬学研究科）

S4-1. 細胞内の水の測定から細胞内夾雑環境・液－液相分離を探る

○中林孝和¹

¹東北大院薬

S4-2. 非膜オルガネラでの転写制御の解明

○井手聖^{1,2}、今井亮輔^{1,2}、大地弘子¹、前島一博^{1,2}

¹遺伝研・遺伝メカニズム、²総研大・生命科学

S4-3. 生きた細胞内で非膜オルガネラを「操る」合成生物学技術の開発

○中村秀樹^{1,2}

¹京都大学 工 合成・生物化学、²JST ERATO 浜地ニューロ分子技術

14:30 ~ 15:30

【ポスターセッション 4】

P28 複数の精神・神経疾患に関わる Rab39B の細胞内局在の解析

○宮地美沙^{1,2}、間裕太郎²、鯉沼真吾²、中村岳史²

¹東京理科大 薬、²東京理科大 生命研

P29 複数の神経・精神疾患に関わる Rab39B の FRET バイオセンサーの開発

○鯉沼真吾¹、間裕太郎¹、和田直之²、福田光則³、中村岳史¹

¹東京理科大学生命医科学研究所、²東京理科大学理工学部、³東北大学大学院生命科学研究科

P30 Ca²⁺, ROS を介したゼニゴケの迅速なストレス応答性長距離シグナル伝達機構の解析

○渡邊健志郎¹、長谷川晃汰^{1,2}、進藤大輝^{1,2}、橋本研志^{1,2}、朽津和幸^{1,2}

¹東京理科大・院・理工・応用生物科学、²東京理科大・院・理工・農理工学際連携

P31 ゼニゴケの細胞分裂組織における Ca²⁺ 動態の時空間パターンの解析：

自発的 Ca²⁺ スパイクの発見

○吉沢優花^{1,2}、橋本研志¹、萩原雄樹^{1,2}、山下優音¹、朽津和幸^{1,2}

¹東京理科大・院・理工・応用生物科学、²東京理科大・院・理工・農理工学際連携

P32 タンパク質結合性を有する新規水溶性蛍光材料の開発

○竹腰 和馬¹、矢下 亜紀良¹、川上 隼人¹、河合 功治¹、村井 利昭²

¹ミヨシ油脂株式会社、²岐阜大学

P33 ウイルスの変異を考慮した COVID-19 治療薬の *in silico* 設計

○椎野颯真¹、五味晶彦¹、星まどか¹、今野翔²、林良雄²、小島正樹¹

¹東京薬科大 生命科学、²東京薬科大 薬学

P34 広視野型 2 光子励起ライトシート顕微鏡の開発

○齋藤卓^{1,2}、今村健志^{1,2}

¹ 愛媛大・院 医学系研究科、² 愛媛大・附属病院 先端医療創生センター

P35 ADMET 特性を考慮した COVID-19 治療薬の *in silico* 設計

○五味晶彦¹、坂田喬亮¹、星まどか¹、椎野颯真¹、今野翔²、林良雄²、小島正樹¹

¹ 東京薬科大学・生命科学部、² 薬学部

P36 シンクロトロン X 線 μ CT 法によるラット大腿骨内に高濃集するウラン分布の可視化

○大澤大輔¹、上原章寛²、小西輝昭¹、寺田靖子³、星野真人³、上杉健太郎³、武田志乃²

¹ 量研機構 量子生命科学研究所、² 量研機構 放射線医学研究所、³ 高輝度光科学研究センター

P37 A highly-sensitive genetically encoded temperature indicator exploiting a temperature-responsive elastin-like polypeptide

○ Cong Quang Vu^{1,2}, Shun-ichi Fukushima², Tetsuichi Wazawa², and Takeharu Nagai^{1,2}

¹ Graduate School of Frontier Biosciences, Osaka University, ² SANKEN (The Institute of Scientific and Industrial Research), Osaka University

15:30 ~ 16:00

【総会】

16:00 ~ 17:00

【奨励賞受賞講演】

座長：賞選考委員会

L-1. 超音波とマイクロバブルを用いたイメージング・治療システムの開発

○小俣大樹¹

¹ 帝京大学 薬学部 薬物送達学研究室

L-2. 蛍光ゆらぎ解析による細胞およびソフトマター内分子動態解析

○山本条太郎¹

¹ 産総研 健康医工学研究部門 バイオイメージング研究グループ

17:00 ~ 18:30

【懇親会】 オンライン開催

ベストイメージング賞発表

9 月 11 日 (土)

◎公開講座プログラム「味と匂いのバイオイメージング」 (参加無料)

日時：9 月 11 日 (土) 10:00 ~ 12:00 オンライン開催

10:00 ~ 12:00

【開会】

開会あいさつ：バイオイメージング学会副会長 洲崎悦子

会の進行について：第 30 回学術集会大会長 田中直子

座長：田中直子

O-1. 脳活動と行動実験からみたヒトの味嗅覚の知覚システム

○小早川達¹

¹ 国立研究開発法人 産業技術総合研究所 人間情報インタラクション研究部門

O-2. オルガノイド培養法を用いた消化管味センサー細胞の機能解析

○岩槻健¹

¹東京農業大学 応用生物科学部 食品安全健康学科

O-3. 味やニオイの刺激で変わる！動物の脳活動

○溝口尚子¹

¹明海大 歯学部 生理学分野

【閉会】

閉会あいさつ：第 30 回学術集会大会長 田中直子

◎本学術集会についての問い合わせ先

第 30 回日本バイオイメーjing学会学術集会事務局

E-mail: 30th.bioimaging@gmail.com

(できるだけ電子メールでの連絡をお願い申し上げます)

URL : <https://30thbioimaging.wixsite.com/my-site-2>

〒 102-0075 東京都千代田区三番町 12

大妻女子大学家政学部食物学科 内

田中 直子 方

TEL: 03-5275-6138